

# 無戸籍児 母子手帳で把握

## 明石市 支援対象 早期発見 図る

明石市の泉房穂市長は10日、無戸籍状態の人が新たに国民健康保

険に加入する際、未納分の減免を制度化すると発表した。早期発見

子どもを1歳までに10パーセント把握することを目指している。

険に加入する際、未納分の減免を制度化すると発表した。早期発見

につなげるため、母子健康手帳を交付する際

の書面に、子が無戸籍児となる可能性について尋ねる項目も新たに設ける。ともに11日から実施する。

同市は昨年8月から現在までに無戸籍者9人を確認。無戸籍の子

どもを1歳までに10パーセント把握することを目指している。

現行制度では、無戸籍でも国民健康保険証を取得できるが、過去2年分の保険料として数万円が必要になることがあるため、市独自の基準による減免制度を新たに設ける。

母子健康手帳交付申請の届出書には、これ

までも「不安なこと」を記す欄があったが、子が無戸籍となる可能性について尋ねる項目を加え、支援のきっかけづくりとする。

同市によると、ともに異例の取り組みとい

い、泉市長は「戸籍がない人に誠実に向き合うのは行政や社会の責任」と述べた。

(井原尚基)